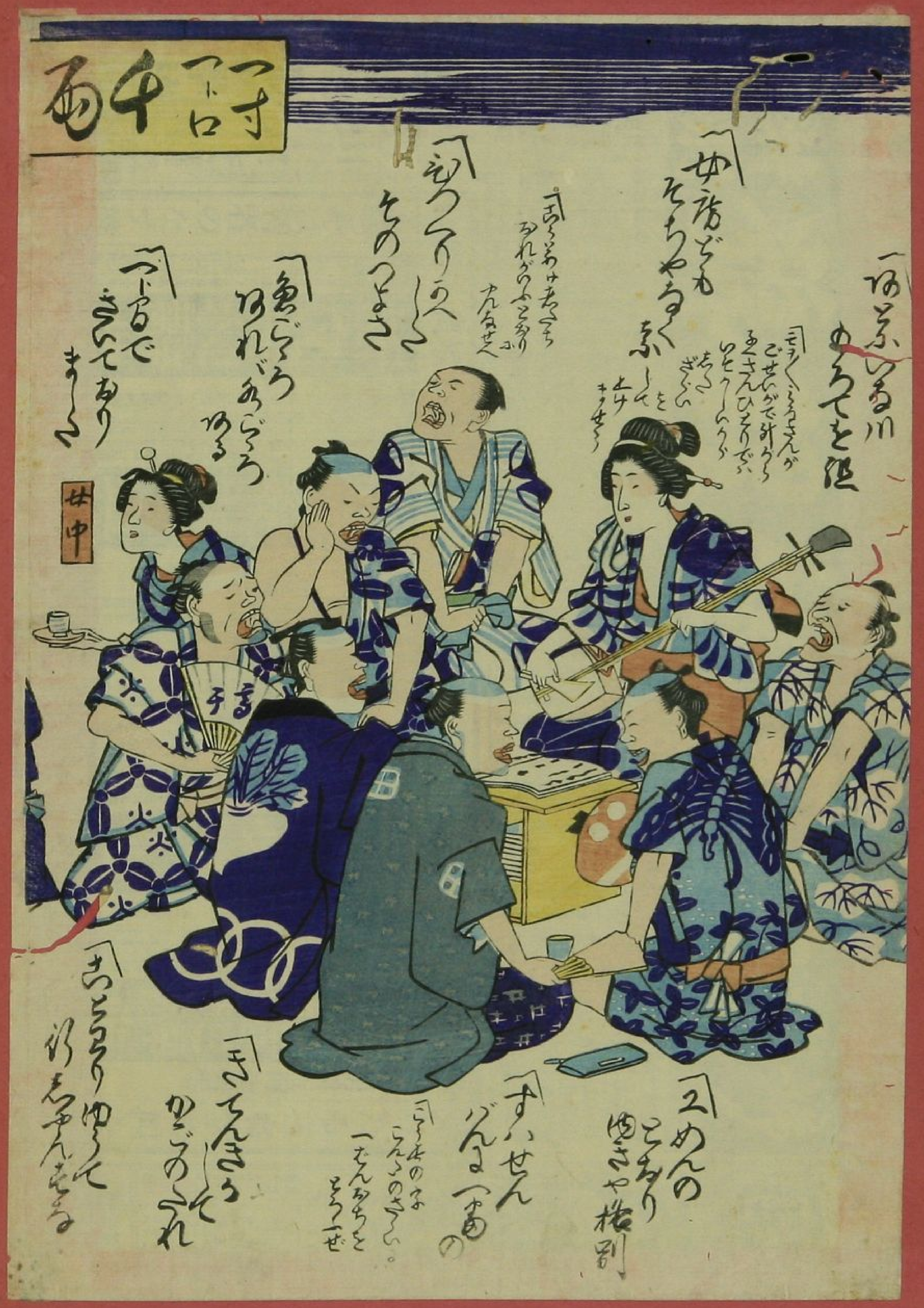
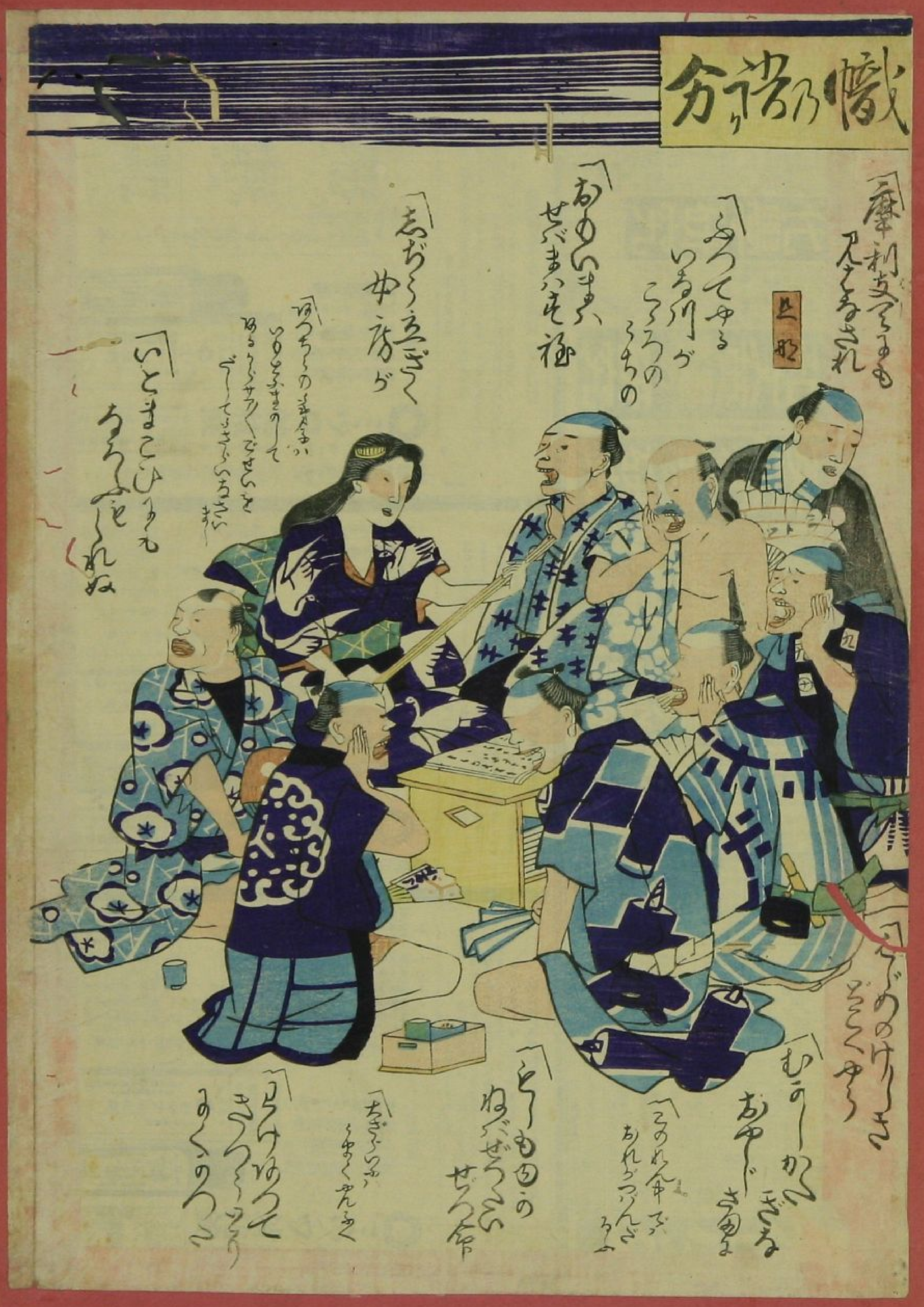

寸口千両
「一中ぶしる川 めらてを跡
「女房でも そちゃかすく ふしくて
「心つくりの人 しく そのつよさ
「魚ごろ ねれば あらごろ ある
「ついるで さいてあり ます
女中
「又めんの こゑり 泡さや稲別
「すいせん びんる一番の
「こゝ女の子 こゑのさらい 一ぜんおちを まう一ぜ
「きてんきう して かごのされ
「さつとうり ゆらして 引ちゃんある


懺乃諸分
「摩利支天さまも 見てなされ
「ふつてゆる いる川が ころろの うちの
「おめでいます せいまんせ福
「ちおらく立ざく 女房が
「いとまごひ うちも ちらふと しれぬ
「びめのけしき ごくゆう
「むのしかく ござる おやじ さ魚よ
「このめ平で おれがつんざ ろう
「とーもゐの ねぶせるくらい ぜつ命
「とけねつて きつくつかり すくのつく